

2024年11月8日

*本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

*本資料に記載の装備、諸元データは、いずれもドイツで販売予定のもので、日本仕様とは異なります。

Audi A6 e-tron：新たに魅力的なエントリーモデルを設定

- Audi A6 e-tron に新たに設定された後輪駆動モデルは、最大システム出力 240kW、A6 e-tron quattro は最大 340kW
- 一充電走行距離は、A6 e-tron が最長 627km、A6 e-tron quattro は最長 716km

(ドイツ本国発表資料) 2024年10月29日、インゴルシュタット：A6 e-tron ファミリーが拡大します。アウディは、後輪駆動のエントリーモデルと、quattro モデルを発売します。これらの新しいバリエーションは、すでにドイツでオーダー可能となっています。

今年の7月に開催されたワールドプレミアで、新しいA6 e-tron が2つのバリエーションで発表されました。後輪駆動のAudi A6 e-tron performance は、システム出力 270kW（ローンチコントロール時は 280kW）、スポーティな Audi S6 e-tron は quattro 四輪駆動で出力 370kW（ローンチコントロール時は 405kW）です。今回新たなバリエーションとして、後輪駆動で総電力量 83 kWh の小型バッテリーを搭載した手頃な A6 e-tron（正味容量 75.8 kWh）と、quattro 四輪駆動で総電力容量 100 kWh（正味容量 94.9 kWh）の大容量バッテリーを搭載したモデルが登場しました。

新しく追加された後輪駆動の A6 e-tron は、システム出力 210kW（ローンチコントロール時 240kW）で、0 から 100 km/h を 6 秒で加速します。800V の技術で最大 225kW を出力する DC 急速充電により、Audi A6 e-tron の充電が短時間で可能です。最適な充電ステーション（ハイパワー充電、HPC）を使用すると、Sportback はわずか 10 分で最大 260km、Avant は最大 245km 相当の充電が可能です。充電レベル（SoC）は 21 分で 10% から 80% まで増加します。インテリジェントで高性能な予測的サーマルマネジメントが、この優れた充電性能を実現しています。A6 Sportback e-tron の一充電走行距離は最長 627km、A6 Avant e-tron の一充電走行距離は最長 598km です。A6 Sportback e-tron は A6 e-tron ファミリーの中で、最も経済的なバリエーションです。

新しく追加された quattro モデルは、システム出力 315kW（ローンチコントロール時 340kW）で、0 から 100 km/h まで 4.5 秒で加速します。A6 e-tron quattro は、最大 270kW の充電容量を持つ HPC では、Sportback の航続距離はわずか 10 分で最大 290km、Avant は最大 280km 相当の充電が可能です。充電レベルは 21 分で 10% から 80% まで達します。一充電航続距離は A6 Sportback e-tron quattro で最長 716km、A6 Avant e-tron quattro で最長 685km です。

今回設定の新しいバリエーションは、すでにドイツでオーダー可能となっています。

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社
アウディ ジャパン 広報部

アウディ ジャパン プレスサイト
<http://www.audi-press.jp/>

報道関係者お問い合わせ：
<https://audi-press.jp/contact/>

お客様問い合わせ：
アウディ コミュニケーション センター
0120 - 598106



アウディ グループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントの自動車およびオートバイのメーカーです。グループに属するアウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティのブランドは、12カ国21か所で生産されています。アウディとそのビジネスパートナーは、世界100以上の市場に存在しています。2023年、アウディ グループは、190万台のアウディ、13,560台のベントレー、10,112台のランボルギーニ、および58,224台のドゥカティを販売しました。2023会計年度において、アウディ グループは総収益699億ユーロ、営業利益63億ユーロを達成しました。世界中で、アウディ グループでは2023年に87,000人以上が働き、そのうち53,000人以上がドイツのAUDI AGで働いていました。魅力的なブランド、新しいモデル、革新的なモビリティサービスにより、グループは持続可能で個性的なプレミアムモビリティプロバイダーへの道を着実に歩んでいます。
